

名古屋大学大学院生命農学研究科
 応用生命科学専攻（土壌生物化学研究室）准教授公募要領（公募期間延長）

1	募 集 件 名	准教授の公募
2	所 属	大学院生命農学研究科応用生命科学専攻
3	募 集 内 容	<p>[職務内容（業務内容、担当科目等）]</p> <p>名古屋大学大学院生命農学研究科では、生命科学の基盤の拡充、生物機能・生物資源の高度利用、生命共生環境の創出・保全、および持続的生物生産と先端生命科学の技術開発を通して環境に調和した人類の発展を目指す総合的な学問分野として「生命農学」を位置づけ、創造的な研究活動によって真理を探究し、生命農学に関して世界屈指の知的資産形成・蓄積と継承に貢献することを使命としています。</p> <p>応用生命科学専攻は、農学分野における多様な生命現象の機構を最先端の生命科学と分子科学の理論と技術により解明し、その応用展開の基盤を作るための研究教育を推進しています。それにより食・環境・健康の増進・向上に貢献することを目的としています。その中で土壌生物化学研究室では、農耕地を主な対象として土壌生態系の各種生物の機能とそれを支える機構を解明し、作物生産や環境問題に関わる土壌生物の機能制御や有用機能の利活用を目指した研究を推進しています。</p> <p>本准教授公募では、土壌生物化学および関連の分野において優れた研究業績を有し、当該研究室および専攻のさらなる発展に貢献する人物を求めます。また、学部・大学院における教育と研究指導に強い熱意を持ち、管理運営に責任感と協調性をもってあたる人物が望まれます。</p> <p>【担当する業務】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・土壌生物の機能とその機構を解明し、それらを基盤とした土壌生物機能の新たな制御・利活用を通じて、食・環境に関わる諸問題の解決に貢献する先端的な研究 ・大学院生命農学研究科および農学部における教育と研究指導 ・生命農学研究科の管理・運営に関連する業務 <p><担当授業科目></p> <p>(1) 大学院</p> <ul style="list-style-type: none"> ・博士前期課程：生命農学演習、土壌学特論、修士論文研究等 ・博士後期課程：博士論文研究 <p>(2) 学部</p> <p>全学教育科目、実験実習、専門分野に関連する専門基礎科目および専門科目等</p>

		<p>※本募集では、業績(研究業績、教育業績、社会的貢献、人物を含む。)の評価において同等と認められた場合には、女性を積極的に採用します。</p>	
		[勤務地]	愛知県名古屋市千種区不老町
		[募集人員]	准教授・1名
		[着任時期]	2023年3月1日以降のできるだけ早い時期
4	募集研究分野	大分類	農学・農芸化学
		小分類	植物栄養学および土壌学関連、応用微生物学関連
5	勤務形態	常勤 任期なし	
6	応募資格	<p>[必要な特定分野の資格・条件(学位などを含む)・専門性等の詳細]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・博士学位を有している者 ・土壌生物化学に関連する研究を専門分野とすること ・大学院と学部における教育と研究指導に、熱意と責任感、協調性を持って取り組むことができる者 ・関連する講義、演習、実験実習などの教育経験があることが望ましい 	
7	待遇	<p>[採用後の待遇(給与、勤務時間、休日、雇用期間、保険等)]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東海国立大学機構職員就業規則の定めるところによる。 https://education.joureikun.jp/thers_ac/act/frame/frame110010928.htm ・給与は、東海国立大学機構名古屋大学年俸制適用教員給与規程による年俸制 https://education.joureikun.jp/thers_ac/act/frame/frame110001585.htm 	
8	応募期間	2022年8月30日～2022年10月28日(17時必着)	
9	応募・選考結果通知連絡先	<p>[応募方法(提出書類の送付先)]</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 応募する旨を明記した書類(応募者の連絡先、電話番号、電子メールアドレス等を含む) (2) 履歴書(様式自由、年号は西暦で表記) (3) 研究業績リスト(原著論文、総説、著書、特許、その他に分類し、番号を付けてください。原著論文の責任著者に*印を付けてください。) (4) 現在までの研究の概要(2,000字程度、研究業績リスト番号を引用のこと) (5) 今後の研究に関する計画と抱負(2,000字程度) (6) 大学院・学部における教育に対する考え方と抱負(1,000字程度) (7) 過去10年間の研究費獲得状況(科学研究費補助金等の競争的資金について、代表と分担に分けて、名称と直接経費の額を明記のこと。年号は西暦で表記すること。) (8) 大学における管理運営、社会連携、国際協働についての考え(1,000字程度) 	

- (9) その他（教育実績、学協会関連活動、社会貢献など選考の参考になる事項）
(10) 応募者について照会できる方 2 名の氏名、連絡先、電話番号、電子メールアドレス
(11) 「類型該当判断のフローチャート」に基づく「類型該当性の自己申告書」（10 その他のリンク先に提示した「様式 1」）
(12) 論文等の PDF ファイル（主要なもの 10 編程度）

[書類送付先]

- ・上記の提出書類（1）～（11）を 1 つの PDF ファイルにまとめ、主要論文の PDF ファイルとともにフォルダに入れ、圧縮（ZIP 形式）フォルダにしたものを、以下のアドレスに添付で送信してください。
- ・メールのタイトルは「応用生命科学専攻土壌生物化学研究室准教授応募（氏名）」としてください。
- ・ファイルサイズは全体で 30 MB を超えないようにしてください。やむをえず超えてしまう場合は、あらかじめ連絡ください。E メールでの提出はファイルサイズが大きい場合、受信できない可能性がありますので、可能な限りファイル共有サーバーをご使用くださるようお願いいたします。
- ・受領後一週間以内に確認のメールを送信しますので、届かない場合には必ず委員長まで電子メールにてお問い合わせください。

書類の送付アドレス（電子メール）：kobo_sbc[at]agr.nagoya-u.ac.jp

※ [at]を@に置き換えてください。

[問い合わせ先]

名古屋大学大学院生命農学研究科応用生命科学専攻
土壌生物化学研究室准教授選考委員会委員長 浅川 晋

電子メール：asakawa[at]agr.nagoya-u.ac.jp

※ [at]を@に置き換えてください。

[選考内容（選考方法、採否の決定）]

- ・書類選考の上、面接を実施することがあります。
なお、面接を実施する場合の交通費は自己負担とします。
- ・採否の結果については、原則、電子メールで連絡します。

10	その他	<ul style="list-style-type: none"> ・名古屋大学は業績(研究業績、教育業績、社会的貢献、人物を含む。)の評価において同等と認められた場合には、女性を積極的に採用します。 ※名古屋大学の取り組みについては下記をご覧ください。 http://www.kyodo-sankaku.provost.nagoya-u.ac.jp/ ・応募データは、本選考以外の目的には使用しません。 ・応募データは、本選考委員会が責任を持って処分します。 ・2021年11月「外国為替及び外国貿易法」(外為法)に基づく「みなし輸出」における管理対象の明確化に伴い、大学・研究機関における教職員への機微技術の提供の一部が外為法の管理対象となりました。 これに伴い、本公募に応募の際、「類型該当判断のフローチャート」に基づく「類型該当性の自己申告書」(https://www.agr.nagoya-u.ac.jp/general/fefta.htmlの「様式1」)の提出が必要となります。また、採用時には「誓約書」の提出が必要となります。
----	-----	---